



THE SERVICE CLUB OF THE YM.C.A.

THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN



国際会長主題 「心新たに立ち上がろう」

アジア会長主題 「心新たに立ち上がろう」

西日本区理事主題 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」

中部部長主題 「ワイズは フェイス to フェイス」

クラブ会長主題 「ワイズは楽しく 奉仕の心も楽しく」

2010年11月

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

会 長	近藤 豊	副 会 長	小塚 英史	書 記	小林 滋記
会 計	森本 征夫	直前会長	杉山 弘時	連絡主事	中井 信幸



今月の聖句

愛にねざし 愛にしっかりとたつものとしてください

エフェソの信徒への手紙 3 章 17

11月例会案内

第一例会

日 時：11月11日（木）19:00～21:00
 場 所：南山YMCA
 卓 話：「ハーブの話」
 講 師：加藤賢二 氏

今月の今月の卓話講師は近藤会長の知人の加藤さん。1998年より、ハーブコーディネーターとして活躍。2002年にはハーブ栽培同好会を発足し、天白生涯学習センターで月1回の例会を開催とのこと。会員は約50名、定例会にも30名近い出席者があるそうです。

時間厳守での出席を心がけましょう。

第二例会

日 時：11月18日（木）19:00～21:00
 場 所：南山YMCA
 協 議

- (1) 12月例会の立案
- (2) その他

10月第一例会報告

日 時：10月14日（木）19:00～21:00
 場 所：南山YMCA
 出 席：浅井、荒川、小林、近藤、杉山、森本
 中井

10月例会は、社会福祉法人「南山寮」寮長の山田克巳氏をお招きし「南山寮」の現状から現代社会が抱える諸問題についてお話して頂きました。先生は、昨年まで高校の先生をしておられた方で、福祉の道を天職と考え転職されました。南山寮への愛着度が一言々から推察され、素晴らしい先生であることが実感できました。

南山寮のような施設（18歳までの家庭での養育に何らかの支障のある子供たちの養育施設）は全国に580箇所位あり、約31,000名の子供たちが暮らしています。養育費のかなりの部分が補助金で賄われているため、子供手当ての対象とはならないようです。子供手当ては対象が子供本人ではなく、保護者対象であり、擁護施設在住の子供たちは、

10月報告	在籍9名	第1例会出席	第2例会出席	メイクアップ	出席率
		7名	8名	0	100%

公的補助金で生活しており、保護者の下で生活しているのではなく、税の二重受け取りになるというのが理由のようです。

入所理由は、色々ですが、近年特に目立っている児童虐待、養育放棄などが多いようです。その原因は、地域に妨害、社会変革などが考えられますが、虐待にしる、養育放棄にしる、大きな社会問題で目を瞑ることはできない問題です。南山寮では、約60人の幼児から高校生までの子供たちが生活していますが、実際に両親のない子供はごく僅かです。圧倒的愛情不足をもとに色々起こる諸問題に加えて、施設として抱える問題としては、施設には親権の代行権はあるものの、法律上の保護者の親権が優先し、急病手術など重大な問題では保護者の権限がないと執行できないなどの問題が浮上してくる。入所児童の側の問題を考えると、一般社会での塾の問題、部活における用具代、高校進学の際の私学、公立間の問題、さらには大学進学など一般家庭とは違う条件が起これそれぞれ悩むことになり指導が難しい。施設として精一杯努力し、愛情を注いでいても、月一回の面会の際に感じる親子の愛情に勝てることはなく「親子」あるいは「家族」の持つ意味の大きさを考えざるを得なくなる。そんなお話をお伺いしていると、我々ワイズとしていったい何が可能なかを改めて考えてしまうが、救いはそういう子供たちも体を使って何かを体験することには、喜びを見出してくれる、ということです。芋堀などは、比較的楽しんで出来る活動のようです。ボランティアという言葉は、なにか「寄付をする」という意味にとられがちで、南山寮もクリスマスなどケーキなどもらいすぎるくらいと苦笑しておられました。そんなところもワイズとして考えさせられる一面です。南山寮の歴史は古く明治19年に遡ることが出来、日本で最古の施設の一つでもあります。かつては、院長は、愛知県知事などが兼任していたこともあるようです。そんな歴史をご自分で倉庫の中から資料を紐とき、冊子に表されています。次号から私も楽しみに読ませていただくつもりです。

ひさしぶりに、真剣な話をお聞きし、ついつり込まれ写真を取るのを忘れてしまうほどで、今月号には、恒例の例会風景の写真はありません。悪しからずご了解ください。

10月第二例会報告

日時：10月30日（土）19:00～21:00
場所：南山YMCA
出席：荒川、小林、小塚、近藤、杉山、中井
深尾、森本

「ピースフルサンデー」準備を兼ね、第二例会が開かれました。準備としては、射的上の整備、ひな壇作り、景品整理など行いました。また小塚君がチラシ作りを担当し、面白いチラシを作っていました。

その後、会議を行い、11月3日のフェローシップの準備、役割分担を確認しました。参加予定は、名広愛児園が10名程度、南山寮が18名程度、リーダー、ワイズ、お手伝いを含め、50名位になりそうです。調理分担は森本メネより追って指示があります。晴れの日を願って頑張りましょう。

中部評議会報告

11時からの開会にしては評議員が減ったとはいえ集まりが少ないと思っていたら、名古屋からのバスが遅れているとのこと。評議会は成立するので見切り発車。司会を幸正中部書記、議長に澁谷中部部長で開始

- ① 前年度事業報告 大島直前部長
- ② 前年度会計決算報告 後藤直前中部会計
- ③ 前年度会計監査報告 三井直前監事
- ④ 本年度事業計画 澁谷中部部長
- ⑤ 本年度予算案 伊藤中部会計
- ⑥ 中部HP連絡会の発足 平口広報主査
- ⑦ 次期中部部長およびホストクラブ確認
- ⑧ 部会献金先 金沢YMCAへ

以上の議案が提案され原案通り可決されました。しかし次々期部長とホストクラブを決めないと、来年の一月の次期役員研修会に間に合わないぞ。年内には何とか名前を出してもらわないと長谷川次期部長が困るのでは。

第14回中部部会報告

快晴の高速をグランパスクラブの荒川メンと服部メンとで金沢へ向かいました。高速は空いていて10時ころには会場に、評議会へ出席の私を下ろして

二人は昼食を食べに、私も受付を済ませお茶でもと受付に行くと登録がされていない。おそらく私の連絡ミスであろうと名札を作ってもらったりしていて、お茶する時間は無くなり評議会へ(報告は別掲)。

会場のニューグランドホテルは香林坊に有り近江町市場もすぐの良い場所に立地しているのですが、時間が無いのですぐ前に建つ尾山神社を見学して部会へ。部会の式次第はどここのクラブが行ってもほとんど同じはずなのにどこか金沢クラブらしさが出た会でした。講演は「元気ですか 中部！」と題して京都パレスクラブの大野嘉宏元西日本区理事のお話を伺いました。懇親パーティーは12階のレストランに場所を移して伊藤仁信ワイズの所属する「はまちどり会」の二胡演奏で始まりました。金沢クラブの歴史か中部部長の人徳か100名位の定員のレストランに130名の参加者、自分の席に着くのもやっとのぎっしり満員それでも着席しての食事。内容は良かったですよ。それに国際大会後なら何が何でも二割アップの点数です。アトラクションは草津クラブの一井ワイズ率いる「カルテットE」の演奏。西日本区大会などのアピール、クラブ紹介があり終了帰日も三人で帰ってまいりました。

そうそうグランパスクラブから40周年のお祝いを頂きました、これで全部のクラブから頂いたのかな?感謝です。



ピースフルサンデー報告

昨年までは、南山YMCAバザートという名前でしたが、今年度より「ピースフルサンデー」と名前を換えバザーが開かれました。お楽しみ抽選会など無くなり、やや規模が縮小したのかな、という感はし

ましたが、大体変わらず賑やかなバザーでした。加藤総主事の最初の挨拶にも会ったように、利益の使い道が、世界平和のために、というハッキリとした目的を持ったバザーでした。

南山ワイズは、例年通り、射的コーナーとみたらし、飲み物コーナーを担当しました。みたらしは、「焼き」のプロの小林君が担当、助っ人に杉山君が回りました。飲み物は、主として荒川、小塚が担当し、射的は森本、近藤の両君が担当しました。何せ、メンバー数が、絶対的に足りないのです、いったん張り付いたら、あとは終わるまで身動きとれず、結構重労働でした。昼食も満足に取れず、みたらしをつまみ、隣の焼き鳥をちょっと口にして昼食代わりでした。バザーは、少し働き後はあちこち冷やかして歩き、旧交を温め楽しむものですが、中々そうはいきません。でも、私にとっては、楽しいこともありました。名古屋YMCAに少年部というものがあり(小林君も杉山君もメンバーでした)大学時代にリーダーをしていましたがその時のメンバーの一人がわざわざ津からYMCAのバザーが懐かしいと言って見に来てくれました。実に40余年ぶりのことですが、定年退職を迎え、ゆっくり暮らしているのですが、暇になると昔のYMCAでの生活が思い出され、ワイズのHPなど見ていて是非会いたくなり来てくれたのです。働いているときには37年で11都市を転勤し、そのためいつの間にか連絡も消息も分からなくなった人でした。住居が津ですので、ワイズに誘うわけにはいきませんが、楽しいひと時でした。飲み物売りが無ければ、もう少しゆっくり話が出来たのですがまたの機会を楽しみにしています。でもバザーは、天気にも何とか恵まれ楽しい一日でした。



農場便り

(1) 10月22日(金)、明星幼稚園の年長さん30名、保護者10名、先生など40名ほどがイモ掘り遠足で農場に来てくれました。昨年に続き2回目です。明星幼稚園の年中行事にして頂けると思います。子供たちは、イモ掘りを楽しみ、昼食後は、堤防散策、堤防すべり、空き地での駆けっこ等思い思いに楽しんでいました。今年は夏の暑さのため、イモの出来少々は悪いのですがそれでも大いに楽しんで頂けたようでした。ちなみに園長先生はグランパスクラブ荒川恭二君のメネットです。

出席：荒川、小林

(2) 10月24日(日)、南山YMCAの各グループの活動で、子供30名、リーダー、スタッフ10名が農場へイモ掘りに来ました。泥んこになりながらイモ掘りをし、その後ゲームなどのグループ活動を楽しみ一日を過ごしてくれました。天候がやや危ぶまれましたが、なんとか一日持ち、子供たちも満足してくれたのではないかと思います。

出席：荒川、近藤、杉山、中井



南山YMCA報告

幼稚園では10月31日(日)に行われるピースフルサンデーの準備が着々と行われています。お母さん方の準備も朝から子どもたちのお迎えのある時間ぎりぎりまで連日行われています。発注をしたもの、購入物などだんだんと備品も増えて雰囲気も盛り上がってきています。リーダー達もホールでの「世界旅行」をテーマにしたゲームコーナーを作成しています。南山ワイズの方には、みたらし団子とジュース販売、射的ゲームコーナーを担当していただきます。多くの方が集う楽しいピースフルサンデーであ

ることを願っています。

10月24日(日)に南山ワイズ農園で野外活動クラブのフィンとハローキッズがお芋掘りをさせていただきました。心配していた雨も降らずに思い切り活動できました。今年は大きいサツマイモより、小ぶりの数多くのサツマイモが取れました。子どもたちは大喜びでした。そして炭火で焼いていただいた焼き芋はまた格別のおいしさがありました。おかわりする子どもたちが続出でした。畑の土を掘り返して何かの幼虫を見つけたり、泥団子づくりをして楽しんだり、1日自然いっぱいの畑で過ごす貴重な体験をさせていただきました。また料金も『格安』にしていただき感謝です。最後にみんなで記念写真をとって笑顔いっぱいでした。



例会出席表

No.		10 / 2	10 / 14	10 / 30	10 / 31
		中 部 部 会	第 一 例 会	第 二 例 会	P ・ S
1	浅井 昭和		○		○
2	荒川 文門		○	○	○
3	小林 滋記	○	○	○	○
4	小塚 英史			○	○
5	近藤 豊		○	○	○
6	杉山 弘時		○	○	○
7	中井 信幸		○	○	○
8	深尾 俊雄			○	
9	森本 征夫		○	○	○